

「東アジアが21世紀を左右する」

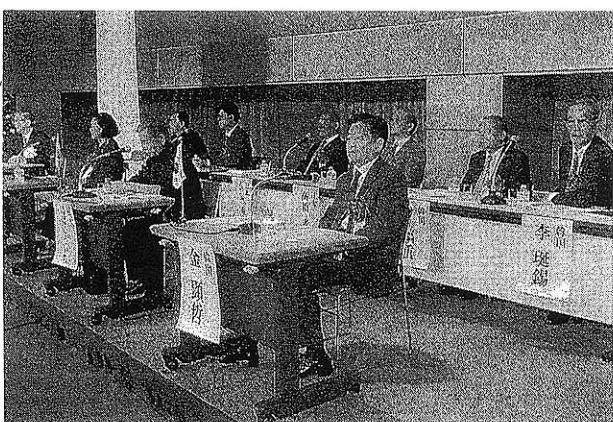


日中韓の研究者ら、平和を提唱

東アジアの平和が、世界平和の大きな鍵を握るとの共通認識の中、「各国情事情」の違いを理解し合う国際シンポジウムが10日、くにびきメッセ(松江市学園南)で開かれた。会議では、北朝鮮の核開発を取り巻く不安

松江でシンポ

定要素や、米中関係がパワーゲームに発展し、朝鮮半島や日本が巻き込まれることを懸念する声が多く、一方でこの地域の安定が、「平和に貢献する重大な役割を果たす可能性もある」と希望の声もあった。



パネルディスカッションでは小松昭夫理事長(左)をコーディネーターに、日本、韓国、中国から10人が発言した

会理事は「日中関係は小泉首相の靖国神社参拝、尖閣諸島問題、教科書問題がある『政治経済』と言われているが、中日間には今、経済ともいえる現象が起り始めている」と懸念した。二十世紀の東アジアの歴史認識について、小松理事長が「過去の歴史は変えられない。認識の違いはあるが、認識を共有化するところから二十一世紀の歴史が始まる」と提起。ばば氏は「今日の日本は、嫌中、嫌韓が充満している。政治家は情緒に訴え、テレビも視聴率を取るためにある。経済人がクールなのはそこまでの国とビジネスをしていない話をするなど信じられない」と問題提起。

学園監事は「韓国の若者が日本の文化・歴史を知るために総合雑誌を作ることを発表。徐文泉・山東社会科学院日本経済研究センター副研究員は「まず、日中両方ともにお互いの(国際的)地位が上がっていくことを認識すべきだ」と話した。

尹鑑重・学校法人泳薰院日本経済研究センター副研究員は「まず、日中両国に利益をもたらす。中国も日本が八〇年代から政治大国になろうとしていることを正しく認識することをすべき。私は、日本が政治大国になつても決して軍国主義ではなく、世界平和に貢献すると思う。

南北友好になつて、この地域の問題解決が世界平和に多大な貢献をすると主張。

劉淑琪・山東省日本学園ではジャーナリストのパネルディスカッションではジャーナリストのパネルディスカッショ

きな鍵を握るとの共通認識の中、「各国情事情」の違いを理解し合う国際シンポジウムが10日、くにびきメッセ(松江市学園南)で開かれた。会議では、北朝鮮の核開発を取り巻く不安

定要素や、米中関係がパワーゲームに発展し、朝鮮半島や日本が巻き込まれることを懸念する声が多く、一方でこの地域の安定が、「平和に貢献する重大な役割を果たす可能性もある」と希望の声もあった。

財団法人人間自然科学研究所(小松昭夫理事長)の主催。会場には中国から約八百人の参加者がいた。

シンポジウムは同研究所が〇五年六月、中海沿岸地域を平和環境健康特別区にするよう特区申請したことを記念して開かれた。

ばば氏は「度戦争をしないと競い合つたはずなのに、今はいつでも武器を持つという雰囲気。あんな恐怖を味わつた身としてはいろいろな(国際問題は話し合つて解決していくしかなければならない。核の時代の戦争は破滅を意味する破滅を知りながら『明日戦争が起る』

と話した。

尹鑑重・学校法人泳薰院日本経済研究センター副研究員は「まず、日中両方ともにお互いの(国際的)地位が上がつて

いるため。政治家は票のために情に訴えるだけではなく、もう少し相互理解を考へるべきだ」と話した。

南北友好になつて、この地域の問題解決が世界平和に多大な貢献をすると主張。

劉淑琪・山東省日本学

発行所
島根日日新聞社
<郵便番号> 01450-4-9940
◎島根日日新聞社 2006年
松江 TEL (0852) 31-1041
FAX (0852) 31-9205
〒690-0873 松江市中原町230
Eメール matsu@shimanenichinichi.co.jp
出雲 編集(0853) 23-6766
営業(0853) 23-6777
〒693-0064 出雲市里方町545
FAX (0853) 24-3530
Eメール henshu@shimanenichinichi.co.jp
雲南 TEL (0854) 45-3991
FAX (0854) 45-3993
〒691-240 雲南市三刀屋町三刀屋121
Eメール unnae@shimanenichinichi.co.jp
東京支社 (03) 3440-2053

salon de mikau
やればやるほど健康毛に…
henna
出雲市塩冶有原町 出雲警察署の東50m
みこう美容室 ☎0853-22-2444
080120-40-1522
アトリエみこう ☎0853-22-4001

日本人には当然前で一番大切なのはどう解决していくかだ。中日双方とも交流を加速すべき。中国人も、日本人も、お互いのことを知らない。しかし、脳髄の対談がなかつたとしても、相互に理解を深めることで、健康となる。また、穀物を基本に野菜や海藻を食べ、肉食を控えることで、健康とともに性格も平穏になると話した。マクロビオティック食を提唱、アメリカを中心活動している久司道夫氏の講演があり、会場を盛り上げた。また、マクロビオティック食を試食と懇親会があつた。

から孫衛東氏、韓国から李斑鷹氏の基調講演があつた。